

広島市植物公園 見どころ案内



2026 年 9 月 1 日
通巻第 711 号

展示会のご案内

①展示資料館 (7/18～9/9)

未来の植物園をつくろう

②展示温室 (9/5～10/4)

秋の薬用植物とハーブ展

キセワタ (シソ科)

山地や丘陵の草地に生える多年草で、紅紫色の花を咲かせます。花の上部に白い毛が密生する姿を、綿を着せているように見立ててこの名前が付けられました。

ブラ ミラピリス

マツムラソウ

オーストラリア

バオバブ

(アオイ科)

西オーストラリア州のキンバリー地方にのみ自生する植物です。推定樹齢400年で日本最大級の大きさを誇り、大温室リニューアル時にシンボルツリーとして導入されました。タイミングが合えば花をご覧いただける可能性があります。

カボチャ

‘アトランティック

ジャイアント’ (ウリ科)

巨大なカボチャが成長中！一人では持ち上げられないほど大きくなっています。色もオレンジ色が濃くなってきました！

タイタンピカス

アンゲロニア
ポーチュラカ

オミナエシ

(オミナエシ科)

「秋の七草」のひとつです。敗醤 (はいしょう) とも呼ばれ、乾燥させると僅かですが醤油の腐ったような臭いがします。

りんりん風鈴と
つりしのび

チョウマメ (マメ科)

青い花を咲かせるマメ科のつる性の植物です。バタフライピーとも呼ばれます。花の青い色素は食品などを青く着色する天然色素としても用いられます。本種を使った青色のハーブティーが有名です。

★大温室で見頃の花・実 アンスリウム、スパティフィラム、ナンヨウザクラ、ブーゲンビリア、洋ラン各種、カカオ、ククイナッツ、トーチジンジャー、[マンゴー、ホワイトサボテ、ジャボチカバ、バナナ各種、ココヤシ、パパイヤ、レブ、キミノバンジロウ、ソーセージノキ、カブダチクジャクヤシ (以上は実)]、イクソラ、ハイビスカス、ヤコウボク、ブッソウゲ、パボニア グレヒリー、アリアケカズラ、ヒメアリアケカズラ